

# 5. 基本理念・基本目標への意見の反映

## 1) 新「道の駅」の基本理念

令和5年5月に公表された“新「道の駅」かんおんじ（仮称）基本構想”の基本理念・基本目標に対し、作業部会より反映すべき事項があればご意見をいただきたいと思ひます。

### 【新「道の駅」の基本理念(テーマ)】

「暮らす」「招く」「育てる」の真ん中で、新たな交流や体験を生み出す「道の駅」

「道の駅」を核に、「暮らす」「招く」「育てる」の3つの視点から、市民や来訪者を市内外の産業や資源獲得につなげ、本市のみならず、広くは県内や四国全域のゲートウェイとして、にぎわいを広域に波及させます。また、本市との交流人口の増加に加え、さらに強い結びつきを有する関係人口の増加により、本市と全国をつなぐ拠点とします。

- .....▶ 人のながれ
- .....▶ 物のながれ

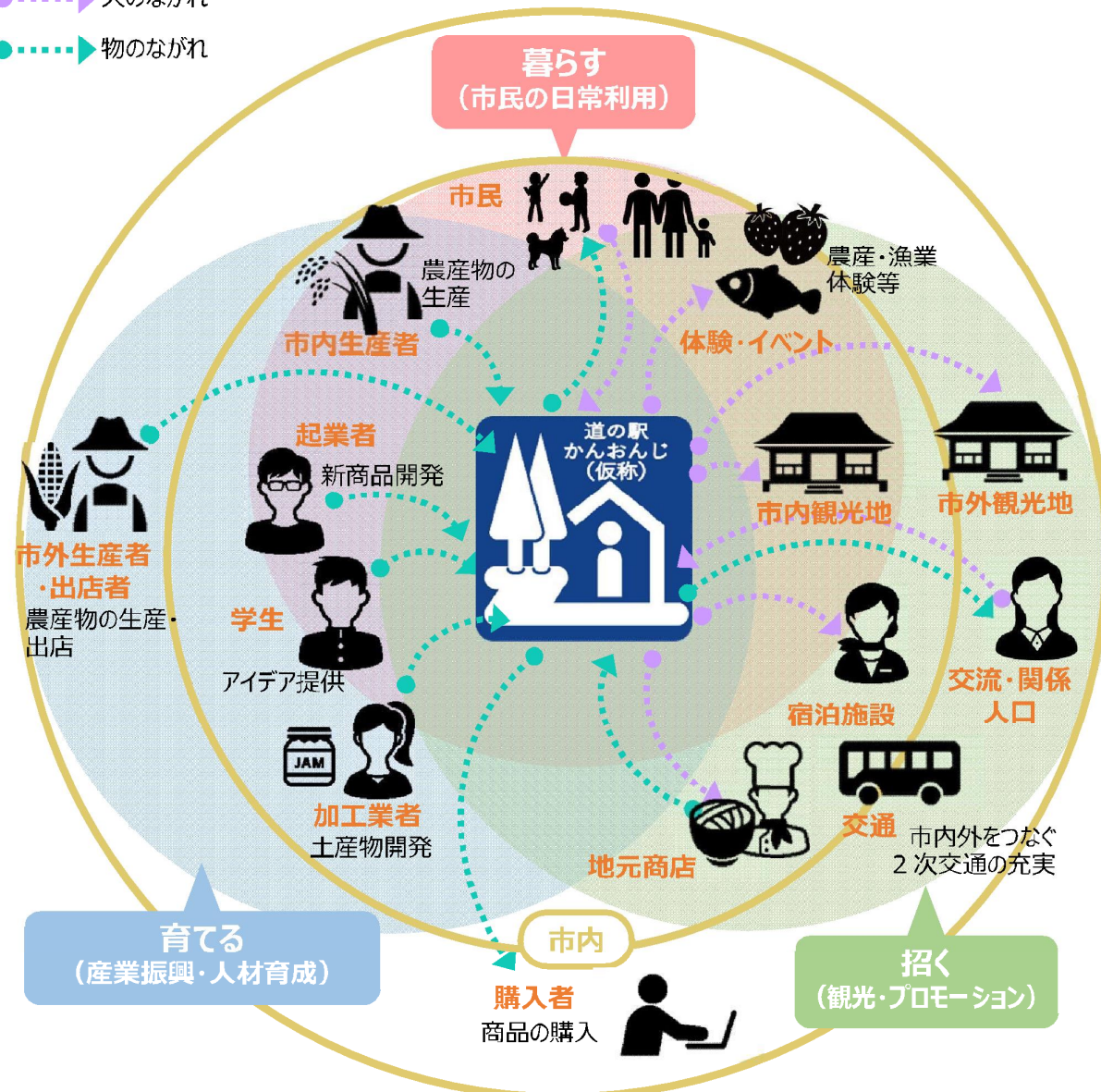


図 22 新「道の駅」の基本理念(テーマ)

### 【新「道の駅」の基本コンセプト】

#### 「暮らす」

- 市民の誰もが日常的かつ安全・安心に集まれる「道の駅」
  - 市民が日常の生活における潤いと刺激を感じる日々を楽しみ、「住みたいまち」に暮らしている、住んでいるという満足感を得られる場
  - 災害時に利用者や近隣住民が一時的に避難でき、復旧・復興時には物資等の中継地点として機能することで暮らしの安全を支え、安心して暮らせる場

#### 「招く」

- 本市や周辺地域において魅力あふれる「道の駅」
  - 本市来訪者に対しては、四国全域のゲートウェイとして、「訪れたいまち」をアピールでき、人とモノが集まる場

#### 「育てる」

- 本市の新たな魅力を創造し、経済成長を牽引する「道の駅」
  - 本市の諸産業にかかわる人材の確保・育成や新たな産業や活動を引き起こしていく「未来につながるまち」としてのチャレンジの場



# 5. 基本理念・基本目標への意見の反映

## 2) 新「道の駅」の基本目標

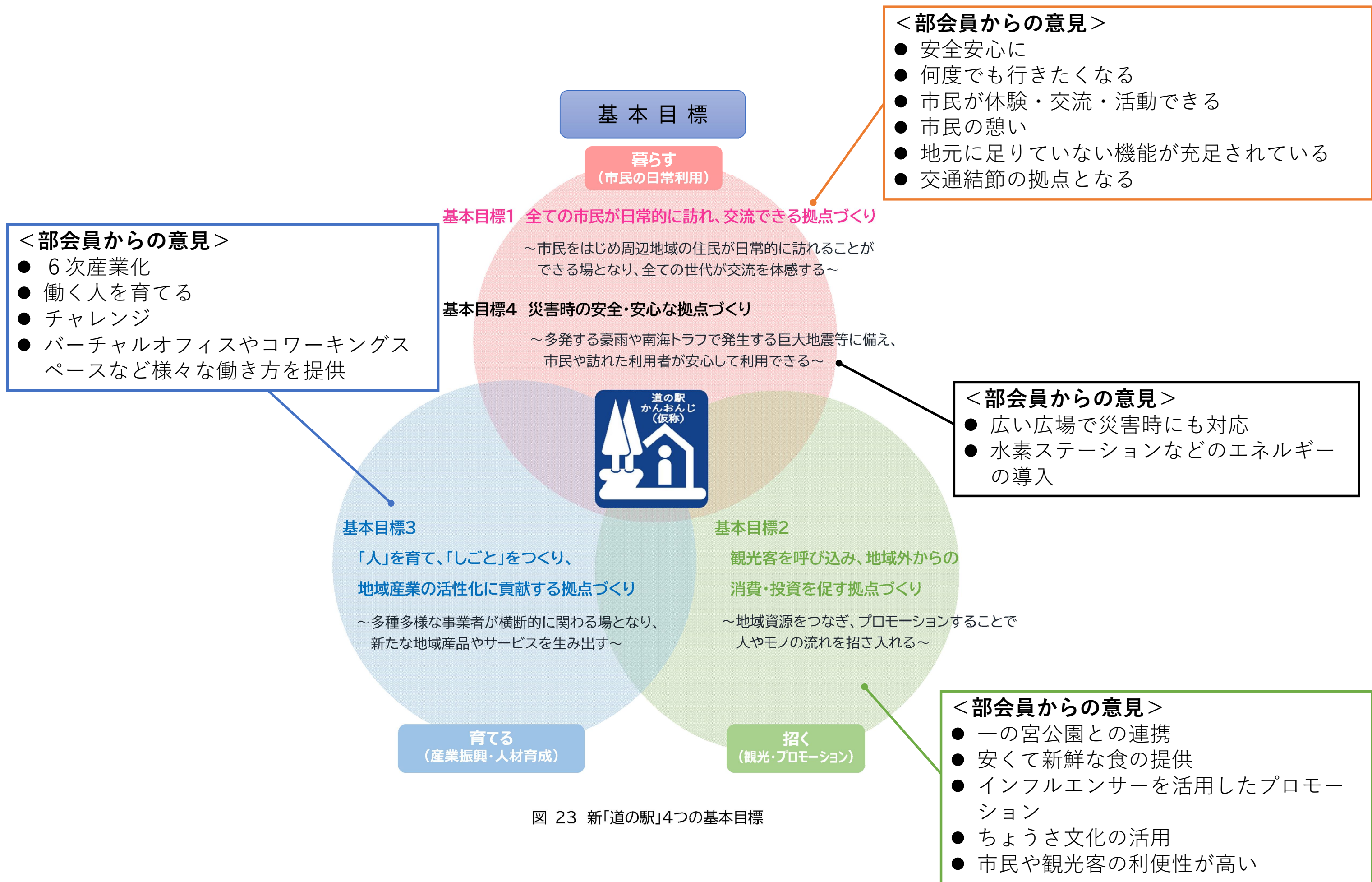


図 23 新「道の駅」4つの基本目標



# 5. 基本理念・基本目標への意見の反映

## 3) 4つの基本目標と導入機能施設展開イメージ

道の駅基本3機能		導入機能イメージ	作業部会からのキーワード				
休憩機能	駐車場、トイレ、シャワー室、授乳室、ミルク・おむつ販売 など	自転車、バイク等の二輪が来やすい、イベントなどで集まりやすい駐車場、大型ショッピングモールにあるような授乳室、男女トイレどちらにもオムツ替えができるスペースや小さい子ども用のトイレの設置					
情報発信機能	道路交通・観光・ふるさと納税・緊急医療・災害情報発信 など	観光のゲートウェイ案内所(デジタルサイネージ、観光パンフ、市内のお店情報の提供、ちょうさ文化)					
地域連携機能	行政サービスコーナー、コミュニティスペース など	市役所出先、図書館、学習スペース等					

基本目標No.	基本目標	基本目標の展開イメージ	作業部会からのキーワード	展開イメージの概要	作業部会からのキーワード	導入機能のイメージ	作業部会からのキーワード	
1	<b>全ての市民が日常的に訪れ、交流できる拠点づくり</b> ～市民をはじめ周辺地域の住民が日常的に訪れることができる場となり、全ての世代が交流を体感する～	子育て世帯が親子で時間を過ごす屋内での子どもの遊び場づくりなど、家族が気軽に集える場を提供する。	<b>安心安全に</b>  <b>何度でも行きたくなる</b>	小中高生が遊べる空間		公園 など		
		全ての世代が、健康運動、レクリエーション活動、イベントづくりやイベント参加ができる場所を提供する。		就学前の子どもが遊べる空間		全天候型遊具 など		
		ペット連れの利用者が、滞在しやすい環境を提供する。		市民の憩いの空間		夕陽を眺める温泉・露天風呂、宿泊施設 など		
		市内の地場店舗などと連携しながら、市民の日常の買い物や食事の場を提供する。		イベント、アウトドアができる空間		イベント広場、キャンプ など		
				市民の健康活動ができる空間		公園、サークル活動室 など		
		市民が体験・交流・活動できる空間		子どもの居場所、高齢者が講師となって活躍できる体験教室、食文化、アウトドア体験教室 など				
		動物と人間が幸せに共生できる空間		ドッグラン など				
		地域産品を食べることができる空間		お酒が飲める		レストラン、地元店舗出店スペース、カフェ など		
		地域産品の販売流通を展開できる空間		キッチンカー、食べ物イベント		地域産品販売所、加工品店、地場店舗販売スペース など		
		地元で足りない機能充足空間		大型店舗、核となる店舗 など				
		交通結節空間		市内を結ぶバス路線、高速バスのバス停 など				
2	<b>観光客を呼び込み、地域外からの消費・投資を促す拠点づくり</b> ～地域資源をつなぎ、プロモーションすることで人やモノの流れを招き入れる～	観光協会や周辺自治体等との連携により、広域的な観光情報等を把握できるコンテンツを集積し、四国の中心に位置する地理的な特長を生かし、四国全域のゲートウェイとしての役割を担う。		ゲートウェイとして四国をつなぐしかけ		周辺自治体や施設の観光窓口・コンシェルジュ、広域展開周遊バス など		
		豊富な地域産品を素材にした創意工夫の食事や地元有名店の参画を促し、本市ならではの食の魅力を提供・発信する。		地域産品を食べることができる空間(再掲)	お酒が飲める	一の宮公園と連携したBBQ	レストラン、地元店舗出店スペース、カフェ など	
		全国の道の駅、産直市場や有名ショップとの広域的な連携を継続的に図り、全国の有名産品提供やイベント交流などにより、集客の持続性を図る。		全国産品が集まる空間	安くて新鮮な四国四県のお土産の購入	ふるさと納税	全国道の駅、全国産直市場、全国有名店舗などの出店スペース など	荷物発送、宅配受け取り
		本市の観光特性を活かした五感を感じる様々な体験を提供する。		モノづくり体験ができる空間		諸産業や地場産品のモノづくり体験工房 など		アウトドア体験 神楽鑑賞
				観音寺らしさを感じることができる空間		銭形砂絵、夕日、風景、アニメ など		
		市内の既存道の駅、観光施設、地元商店街等との連携強化により、イベントや地域通貨などを活用し、市内全域の回遊性を向上する。		市内の回遊性の向上をはかるしかけ		市内イベントや観光拠点への周遊バス、地域通貨や割引などを活用した地場商店をつなぐ など		レンタサイクル、電動キックボード
		アート・文化・歴史の魅力を発信し、市内に点在するアート作品との触れ合いや名所旧跡などを巡るツアーなどへの参加を促し、癒しのある時間を提供する。		市内の魅力に触れるしかけ	インフルエンサーの活用	毎月ちょうさのイベント開催	市内に点在するアート作品などを巡る周遊バス など	海・夕陽・ちょうさの撮影スポット
		周辺地域観光拠点を周遊するシャトルバス、空港リムジンバスや高速バスの地域交通の拠点機能を整備し、市民や利用者の移動手段を確保する。		長距離バス等の乗り換えができる空間	バスと様々な交通手段は一つにまとめる		高速バス、リムジンバスの停留所 など	
のりあいバス、観光バス、運送トラック、EV自動車、ロードバイク等さまざまな交通手段や用途で来場できるよう駐車施設や宿泊機能などを提供する。		宿泊により本市の魅力を伝える空間		宿泊の窓口予約、宿泊施設の推進、RVパーク など				
		さまざまな交通手段で来場できる空間		レンタサイクル、サイクルステーション、EVステーション、のりあいバス乗り場、観光バス駐車場 など				
		市民や観光客の利便性を高める空間		24時間営業のコンビニエンスストア など				
3	<b>「人」を育て、「しごと」をつくり、地域産業の活性化に貢献する拠点づくり</b> ～多種多様な事業者が横断的に関わる場となり、新たな地域産品やサービスを生み出す～	多種多様な地元の農畜水産物や地域産品などを紹介・販売する場を提供することで、地域経済拠点の形成につなげる。		地域産品の販売流通を展開できる空間(再掲)	生産者の顔が見える加工品による他にない商品	地域産品販売所、加工品店、地場店舗販売スペース など	大きな水槽で活魚の販売 地場産品サミット	
		SNSやEC/通販の活用により、地元の地域産品などのブランド力強化による販売の促進を図り、地域経済の活性化を図る。		市内の魅力発信する空間		イベント活動、地域産品、PB商品の発信やふるさと納税などのプロモーション など		
		産学官連携による季節の新商品、目玉商品やプライベートブランド商品を多種多様な業種により共同開発し、高付加価値商品を継続的に創出する。	6次産業化	アイデアを創出する空間		産学官連携による新商品開発室(連携ラボ) など		チャレンジ店舗 レンタルスペース キッチンカーイベント
		市内の産業振興や市民の自己実現にチャレンジできる、人材の育成に資する拠点とする。		人材育成ができる空間	働く人を育てる		起業にチャレンジできる商業活動への参入環境づくり など	市民団体活動拠点 バーチャルオフィス コワーキングスペース
		諸産業の体験ができる空間		地域資源発展のため産業振興窓口の開設による諸産業の教育・就業体験工房 など				
4	<b>災害時の安全・安心な拠点づくり</b> ～多発する豪雨や南海トラフで発生する巨大地震等に備え、市民や訪れた利用者が安心して利用できる～	防災対応型エネルギー供給システムの活用により、災害時にも通信、各種電源等を安定供給し、移動中の道路利用者、来場者や周辺地域の住民が安心して一時避難できる場とする。		災害時でも安全安心な空間		次世代エネルギー、非常用電源装置、蓄電池システム、移動用発電機、耐水性貯水槽、災害用トイレ など	水素ステーション	
		災害時に気象情報、通行規制の情報、被害情報、緊急避難経路や救急病院の連絡先など災害時特有の情報を提供する。		災害時における情報の共有・発信空間		災害情報の集約・発信システム など		
		大規模災害時は、広域的な物資供給や復旧・復興支援活動の拠点となる施設として活用する。		広域的な物資供給拠点となる空間		ヘリポート、防災用備蓄、広域支援部隊の活動拠点 など		広い広場

※青文字は作業部会より出た意見です